



# ソロ < クラブ ≒ ガイド ≒ コンペ ≒ イベント < レース

日本のグレーゾーンのサイクリングの主役  
“三種のツーリングコンペティション plus”で考える  
「サイクリストライセンス」と「スーパー先達！」

## ・・・再提案書・・・

(転遊研 Compass2018)

### 転遊研プラス

P1:はじめに

P2:Compass2018 カレンダー

／「三種のツーリング  
コンペティション plus」について！

2017年12月28日起稿

P3:★街道／ルート100エヌ

P4:●山道／Think Cycling

P5:◆町の道／THT26ネットワーク

P6:＊プラス／Moc+1+2、CFY、他

P7:特別協力をお願い

第一稿／20180104

## はじめに

「もはや戦後ではない」とは、1956年(昭和31年)の流行語だが、第一次サイクリングブーム(※)は正にこの年から始まった。  
しかし、業界の期待を裏切って、たった2年で終息。  
その後、自転車ブームは何度も繰り返されるものの、定着しないのは、当時と理由が変わらないからのようだ！？

それは、“正しいサイクリングの理解”と“自転車市民権獲得道半ば”と思われる。

その当時、「大人のサイクリング」の普及啓蒙に尽力した自転車博士曰く、  
欧米のプロアマ問わずレースへの参戦を含む自転車利用が本来のサイクリングであり、  
散策や旅行などのレクリエーションとしての利用は狭い意味でのサイクリングだと！？

そして「大人のサイクリング」を楽しむための、道路事情や休日事情を含む環境整備が、自転車市民権の獲得と考えます。

この Compass2018 では、前者をグラデーション型世界基準とし、後者をグレーゾーンの日本の現状と解釈し、  
日本の現状を下記のような概念図として新たに提案しつつ話しを進めます。

## ソロ < クラブ ≒ ガイド ≒ コンペ ≒ イベント < レース

日本のサイクリングの法的根拠を考えた場合、ソロ活動とレース活動は保証されているとしても、その狭間のグループサイクリングは曖昧であり、さらに四分割したい。

また自転車市民権獲得と言う山に登るにはルートを探す先達が必要で、  
登頂メンバーにもそれなりの資格があった方が良いと思います。

サイクリストライセンスを持った「大人のサイクリスト」が参加するコンペライドを組み立てられるスーパー先達をまず作りましょう！



※第一次サイクリングブーム当時の状況は、  
上野継義「わが国サイクリング史の一断面」を参考にしています。

## Compass2018 カレンダー

道\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年
★街道	企 画 調 整			ルート100エヌ／先行山口(CFY)				さんいん 1300		ルート100エヌ／限定西日本(CFY含む)			
●山道			番外/やましろ MTBツア ーズ(CFY)		【街道】 【山道】 【町の道】					マイティ デューロ 24+2			BGM 富士八ヶ岳 番外/RO2019 (CFY)
◆町の道			毛利両川オ ープニン グ・関ヶ原 陣跡巡り (Moc)	萌黄のラリーデイ2018 毛利両川トーナメント春の陣(CFY/Moc)						紅葉のラリーデイ2018 毛利両川トーナメント秋の陣(CFY/Moc)		毛利両川フ ァイナル・広 家から沢瀉 への伝言 (Moc)	
*プラス			※やましろ ルート探索 (CFY)	CFYイベントカレンダー(CYF)			かるたドライ ブ◇維新激 戦地の回 (Moc)	かるたドライブ◇続防長三白を探せ！(Moc) (Moc)かるたドライブ◇追跡毛利百二十万石		ブロック大会長崎	たちかわ創造舎3周年	かるたドライ ブ◇維新策 源地の回 (Moc)	うまもん vs うま いもん / 生産 +加工+販売= 六次産業化+α

※(CFY):サイクリングフィールド山口関連 ※(Moc):毛利チャレンジ関連

「三種のツーリングコンペティション plus」について！……第一次サイクリングブーム当時、大手新聞社主催の懇親会もある自転車の遠乗り大会や大規模な集団サイクリングが催され、道は自転車に乗った男女で溢れたとか！？それがあつという間に霧散したのは、**大人のサイクリング(※)の本質**が理解されていなかったからとは自転車博士の言葉。その本質とは、「**自分自身の力で、自由に、自然のうちを、走ること自体を楽しむ**」ことだそうで、転遊研の考えと一致しています。それは当然で、自転車博士、即ち鳥山新一氏主宰の「新しいサイクリングを考える会」で、フランスやイギリスのサイクリング事情を聴きながら、日本では実施が難しい「ブルベ」の存在も知りました。そして、ニューサイクリングの今井彬彦編集長から託された「ブルベ」の実現は、第一次サイクリングブームの当事者達からの宿題と捉えています！

しかし走り出したら自己責任が基本の、レースとツーリングの両方の性格を持つ「ブルベ/ツーリングコンペティション」は、如何にアレンジしたとは言え、日常のセキュリティを超える部分があり、未だアンダーグラウンドな状態。そのため「★街道/ルート・エヌ」「●山道/とれとればいく」「◆町の道/トレジャーハント26」の**三種のツーリングコンペティション**で、自転車市民権獲得のためのプラスアルファとして地域貢献型サイクリングクラブの必要性を訴えています。上記はそのための2018年カレンダーです。



※転遊研では、「大人のサイクリスト」が参加するツーリングコンペティションをある意味で「大人のサイクリング」の象徴としたいと考えます。

## ★街道／ルート100エヌ

道\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年
★街道	企画調整		ルート100エヌ／先行山口(CFY)						さんいん 1300	ルート100エヌ／限定西日本(CFY含む)			

※(CFY):サイクリングフィールド山口関連 ※(Moc):毛利チャレンジ関連

“ブルベ”とは「認定」という意味のフランス語。ナショナルブルベ100kmコースを47都道府県に！

『ルート100エヌ』は、各地に100km前後の推奨ルートを設定し、任意にそれを走り、走破数によって認定・表彰をするものです。

### ☆☆☆希望的展開案☆☆☆

- ☆懸案……ツーリングコンペティションの認知／推奨コースの設定
- ☆効果……大人のサイクリストの掘り起こし／ショップ店頭申込と春需でソフトを売る(※)必要性の立証
- ☆目的……ノウハウの蓄積と“時には参加者・時には主催者(※)”を理解できるサイクリストへの呼び掛け

- ◎主催:THTジャパン準備委員会⇒THTジャパン
- ◎特別協力:JCA+プロショップ、ツーリングに力を入れている国内メーカー、他
- ◎実施概要:★ルート100エヌ・パイロット山口【4月20日～6月20日／☆岩国～益田約110Km ☆柳井～大島一周約105Km ☆下関～萩約110Km ☆周南～長門約100Km ☆宇部～津和野約110Km】  
★さんいん1300【8月9日～13日／近畿～下関～大阪】  
★ルート100エヌ・パイロット西部日本【9月20日～11月20日／☆近畿:大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山／☆中国:鳥取・島根・岡山・広島・山口／☆四国:徳島・香川・愛媛・高知／☆九州:沖縄・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】
- ◎実施内容:規定の距離を規定の時間で走破したことを認定するナショナルブルベ100の実証実験実施。春に山口県でパイロット企画を先行させつつ、秋の西部日本での準備を行う。また、さんいん1300はそのシンボル企画として実施。また参加は店頭でのブルベカード購入で行う。
- ◎制作スケジュール:推奨コースの基準作り、協力店舗探し、実施規模の検討、協力依頼、チラシ作成・告知募集……。

☆補足解説:“サイクリングとは、レースを含むスポーツサイクリング全般”とは、UCIのルールブックにある定義です。その意味で一般道を交通ルールに則って走るツーリングコンペティションは、欧米での自転車遊びの中心と言っても過言ではありません。日本でも警察的にも保険的にも、そして市民権的にも認められれば、大人のサイクリングの幅が広がります。



※ショップの役割にソフトを売ること(情報発信)を入れるなら、バリエーションの充実が前提で、そのための参加者と主催者の両方の気持ちの解る地元のスーパー先達が必要。

## ●山道／Think Cycling

道\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年
●山道		企画調整	番外/やましろ MTBツアーズ(CFY)							マイティ デューロ 24+2			BGM 富士八ヶ岳 番外/RO2019 (CFY)

※(CFY):サイクリングフィールド山口関連 ※(Moc):毛利チャレンジ関連

### クローズド&オープン、レース+ツーリング+ワークショップで自転車文化を考える！

『Think Cycling』は、元々『Think MTB』として考えた「レース+ツーリング+ワークショップ」で展開するクローズド&オープン企画(※)です。

### ○●○希望的展開案○●○

- 懸案……MTBの山道走行問題／サイクリングの法的根拠／クローズド&オープン上級バージョン用ベース企画の確立
- 効果……問題提起とMTBマーケットの掘り起こしの呼び起こし(MTBの山道走行問題を考えることがサイクリングの法的根拠に直結！?)
- 目的……現状の確認とクローズド&オープン(上級バージョンと初級バージョン)の可能性の検証
- ◎主催:小海プティリッツア探索委員会2018／富士八ヶ岳BicycleGlanceMeeting実行委員会⇒ジャパンサイクリングプロジェクト・Think Cycling
- ◎特別協力:日本自転車普及協会、自転車産業振興協会、日本自転車競技連盟、日本サイクリング協会、自転車協会、MTBを売りたい関係者、エリア有志、他
- ◎実施概要:●小海マイティデューロMTB24時間耐久レース2018【10月6～8日／長野県小海町松原湖高原オートキャンプ場】  
●BGM富士八ヶ岳シリーズ2019【春+秋／松原湖高原、富士見パノラマ、本栖湖、霧ヶ峰】
- ◎実施内容:小海MD24+2は、チーム対抗リレー方式で24時間の周回数を競う耐久レース。今年で26回を数えるので「24+2」と表記。  
※BGMはMTB6時間耐久レースをメインに、サブにコンペライド(仮称・チョイス)とワークショップを組み合わせた内容で、Think Cyclingのベース企画の実証実験をする。
- ◎制作スケジュール:MD24+2の準備を進めつつ、BGMシリーズ2019の企画調整をする。
- 補足解説:▲メインメニューにMTB6時間耐久レースを据える理由@第一に、同時多発的に全国で行われた等身大企画であるという点。第二に、レース展開が解り難いが改良次第でチャンピオンスポーツに化ける可能性があるという点！改良のカギは計測システムにあり！ ▲サブメニューにコンペライドを据える理由@限定エリア内で年齢性別車種スキル不問で楽しめる内容にアレンジできるから。(THT26+とれとればいく)÷2=仮称・チョイスを投入予定！？ ▲上級バージョンと初級バージョンの役割の違い@「ソロクラブ≦ガイド≦コンペ≦イベント<レース」。この項の「レース+ツーリング」で上級ライセンスを、THT26ネットワークの「セミナー+ツーリング」で初級ライセンスを担います。 ▲MTBルート探しサイクリングが最も面白い理由@縄文時代から続く日本の山道。それを辿らない理由がどこにある？番外編はそれをカバーします。



※クローズドサーキットのレースメニューと、オープンロードのツーリングメニューを組み合わせ、スポンサーの確保やスタッフの交流など、様々な相乗効果を狙う。

## ◆町の道／THT26ネットワーク

道\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年
◆町の道		企画調整	毛利両川オープン グ・関ヶ原 陣跡巡り (Moc)	萌黄のラリーデイ2018 毛利両川トーナメント春の陣(CFY/Moc)					紅葉のラリーデイ2018 毛利両川トーナメント秋の陣(CFY/Moc)			毛利両川フ ァイナル・広 家から沢瀉 への伝言 (Moc)	

※(CFY):サイクリングフィールド山口関連 ※(Moc):毛利チャレンジ関連

### 年齢性別車種不問で楽しめる等身大企画。地域貢献型サイクリングクラブのプラットフォーム！

『THT26ネットワーク』は、その存在がグラデーショナルなTHT26を応用してサイクリングネットワーク再構築を模索するものです。

### ◇◆◇希望的展開案◇◆◇

- ◇懸案……派手な展開が苦手なため合わせ技告知が必要／点・線・面・時でTPを組み立てられるスーパー先達が必要
- ◇効果……わらしべ効果と観光メンテナンス効果
- ◇目的……2018年は、明治維新150周年応援企画として全国展開することで、共同告知、全体集計の可能性を再度探る。

- ◎主催:THTジャパン準備委員会+自転車さんぽ26維新150実行委員会(いわ研+転遊研+県内ショップ有志)⇒THTジャパン
- ◎特別協力等:岩国市観光協会、岩国市、山口県サイクリング協会、山口県自転車競技連盟、自転車協会、他(ALLショップ、文科省、厚労省、環境省)
- ◎実施概要:◆萌黄RD2018with 毛利両川T春の陣【4月～6月／エリア別項】  
◆紅葉RD2018with 毛利両川T秋の陣【9月～11月／エリア別項】
- ◎実施内容:年齢性別車種不問で楽しめるTHT26のシリーズ企画を明治維新150周年に絡めて展開。オープニングを関ヶ原町で、ファイナルを岩国市で行う、予選～決勝というトーナメント形式。 ※検索展開も検討
- ◎制作スケジュール:実行委員会の立ち上げ、開催地候補への呼び掛け、協賛・協力・後援依頼、チラシ作成・告知募集……。
- ◎エリア候補:【春】関ヶ原～宮島・玖珂・富田・防府・阿東、月山富田城、鳥取城、備中高松城、鹿児島、高知、佐賀、他  
【秋】横須賀、長崎、京都、奈良、山梨、東京、福島、北海道、萩・益田・大竹・大島・下関～通津、他

◇補足解説:明治維新150周年応援企画としていますが、それに当てはまらないエリア等もあるので、これまでの萌黄&紅葉RDの特別枠として組み込みます。またそれは本来のネットワークの再構築および地域貢献型サイクリングクラブの提案が主目的であることの確認と、大人のサイクリストへの入口としての可能性を示すこととなります。それが出来るのも、日常利用とスポーツ利用(※)の懸け橋にTHT26が位置しており、“Think Cycling”の一翼、初級ライセンス用クローズド&オープン企画を担うこととなります。



※警察見解では「歩行的利用・自動車の利用」と言われる、自転車利用の二面性です。それをつなぐTHT26は、市民権獲得条件、大人のサイクリストへの入口にも成り得ます！

## \*プラス/Moc+1+2、CFY、他

道\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年
*プラス	企画調整	※やましろルート探索 (CFY)	CFYイベントカレンダー (GYF)				かるたドライブ◇維新激戦地の回 (Moc)	かるたドライブ◇続防長三白を探せ! (Moc) (Moc)かるたドライブ◇追跡毛利百二十万石		ブロック大会長崎	たちかわ創造舎3周年	かるたドライブ◇維新策源地の回 (Moc)	うまもん vs うまいもん / 生産+加工+販売=六次産業化+α

※(CFY):サイクリングフィールド山口関連 ※(Moc):毛利チャレンジ関連

### 毛利チャレンジ2018/ザッピング型ゲーム旅で温故知新! 岩国かるたドライブ明治維新150周年応援企画!

- ⇒希望的展開案.....◎主催:いわくに研究会 ◎特別協力:岩国市、山口市、山口きらめき財団、NEXCO 西日本、他
- ◎維新かるたドライブ◇激戦の章:和木町蜂が峰公園集合~芸州口の戦い~旧山陽道~大島口の戦い~周防大島町グリーンステイ長浦解散
- ◎維新かるたドライブ◇防長三白を探せ!(セルフ):県内約50箇所(※)のTPの現場クイズの答えを探しながら、規定数を期間内に任意に巡る。
- ◎維新かるたドライブ◇追跡毛利百二十万石(バーチャル):毛利最大領土に散りばめられた約50箇所(※)のTPにまつわる問題の答えをネット検索で探る。
- ◎維新かるたドライブ◇策源の章:山口市旧県会議事堂前集合~亀山公園・他~大田絵堂~赤間関街道~東行庵~下関市長府観光会館解散

### サイクリングフィールド山口/シーサイド、リバーサイド、マウンテンフィールド、山口の“道”を走り尽くそう!

- ⇒希望的展開案.....◎主体:サイクリングフィールド山口準備委員会 ◎特別協力:サイクル県やまぐち、県サイクリング協会、県自転車競技連盟
- ◎ルート100エヌ先行山口:☆岩国~益田約110Km ☆柳井~大島一周約105Km ☆下関~萩約110Km ☆周南~長門約100Km ☆宇部~津和野約110Km
- ◎やましろMTBツアーズ&ルート探索:○羅漢高原~津和野街道~山代街道~河山・スターリッジトレイル整備 ○岩日北線ルート探索
- ◎毛利両川トーナメント:◇過去実施エリア/長府、新下関、菊川、萩、山陽小野田、宇部、山口、防府、柳井、玖珂、由宇、岩国、大竹、吉賀、他
- ◎CFYイベントカレンダー:クラブラン、ガイドツアー、コンペライド、イベントサイクリング、レース大会、県内の全行事網羅を目指して、季刊で発行!?

**その他/ブロック大会長崎:**九州ブロックの各県の持ち回りのサイクリングラリーを2018年は長崎県が担当。全国ラリーも併催?  
**たちかわ創造舎3周年:**廃校を活用した、サイクルステーション事業の三周年記念行事にロード&オープンとして協力予定?  
**六次産業化+α:**岩国かるたドライブの運営で痛感した地域資源&地元製品のブランド磨きの必要性。いわ研の今後の方向性は? またここでも、ブランド磨きをする、遊び仕事人が求められます。それは、点・線・面・時でTPを組み立てられるスーパー先達の必要性と重なる課題です!



※約50箇所:いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ  
うみのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせす ん

## 特別協力のお願い

平成のエコ系自転車ブームは、台湾の某自転車メーカーの創業者がインバウンド推進に貢献したと叙勲され、「大人のサイクリング」にかなり接近した状況となっていますが、本来のサイクリングを楽しむための自転車市民権獲得に向けた動きは、自転車活用推進法や警察見解も含め、逆に迷走状態に拍車がかかっています。それを紐解くキーワードが「サイクリストライセンス」と「スーパー先達！」です。

Compass2018 では、転遊研の活動で蓄積した自転車遊びのノウハウの移植と、まだまだアイデアレベルの自転車ソフトの実証実験を並行して進め、「★街道／ルート100エヌ」「●山道／Think Cycling」「◆町の道／THT26 ネットワーク」にアレンジを加えながらもこれまで通り実践し、プラスアルファの要素として「地域貢献型サイクリングクラブ」の必要性も訴えたいと思います。

つきましては、「三種のツーリングコンペティション」を用いた「サイクリストライセンスの構築」と「スーパー先達の育成」を通じて、日常利用とスポーツ利用の溝を埋め、グレーゾーン型をグラデーション型に近づけ、少しでも自転車市民権獲得への理解を深める地道な当活動へのご理解とバックアップ<sup>(※)</sup>を、自転車多様性と同様に、様々なジャンルの方々をお願いする次第です。

※(検索⇒転遊研)

自転車遊び総合研究会 〒740-0036 山口県岩国市藤生町1-30-6  
T. 090-5573-9372 F. 03-6368-4661 tenyuken@aol.com <http://www.bike-joy.com/TUK.htm>



※三種のツーリングコンペティションを企画運営するには、告知と景品は共通の課題です。  
但し、バックアップのお願いは「★街道」「●山道」「◆町の道」「\*プラス」で個別に行います。